

作成日 2011年 11月 2日

改訂日 2021年 10月 2日

## 製品安全データシート

### 1 製品及び会社情報

製品名 スパイダージェルスプレー  
 会社名 カモ井加工紙株式会社  
 住 所 岡山県倉敷市片島町236番地  
 担当部門 開発部  
 電話番号 086-465-5811 FAX番号 086-465-5815  
 商品コード -  
 緊急連絡先 0866-82-9311  
 整理番号 -

### 2 危険有害性の要約

#### <有機溶剤成分情報>

#### GHS分類

物理化学的危険性	引火性エアゾール	区分1
健康に対する有害性	皮膚腐食性・刺激性	区分2
	吸引性呼吸器有害性	区分1
環境に対する有害性	水性環境急性有害性	区分1
	水性環境慢性有害性	区分1

(分類できない、区分外、該当しない、は記載省略)

#### ラベル要素

#### 絵表示又はシンボル



注意喚起語： 危険  
 危険有害性情報： 引火性の高い液体及び蒸気  
 皮膚刺激  
 飲み込み、気道に侵入すると生命に危険のおそれ  
 環境有害性情報： 水性生物に非常強い毒性  
 長期継続的影響により水性生物に非常に強い毒性

#### 注意書き：

【安全対策】

- ・熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。
- ・容器を密閉しておくこと。
- ・容器を接地すること。
- ・防爆型の電気機器、換気装置、照明機器を使用すること。
- ・火花を発生させない工具を使用すること。
- ・静電気放電に対する予防措置を講ずること。
- ・保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。
- ・環境への放出を避けること。

**【救急処置】**

- ・皮膚または髪にかかった場合、直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと。
- ・皮膚を流水で洗うこと。
- ・皮膚刺激が生じた場合や飲み込んだ場合、医師の診断を受けること。
- ・吐かせないこと。
- ・漏出物を回収すること。

**【保管】**

- ・換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
- ・施錠して保管すること。

**【廃棄】**

内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。

<粘着剤成分情報>

GHS分類

分類できない、区分外、該当しない、は記載省略

ラベル要素

絵表示又はシンボル： なし

注意喚起： なし

危険有害性情報： なし

3 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 混合物

成分及び含有量

成分名	CAS. No	含有量 (%)	備考
イソペンタン	78-78-4	1 未満	労安法通知対象物質
AlkanesC8-10, iso(オクタン含有)	68551-15-1	30 ～ 40	労安法通知対象物質
ノナン	111-84-2	1 ～ 10	労安法通知対象物質

イソブタン	75-28-5	1 ～ 10	労安法通知対象物質 噴射剤
プロパン	74-98-6	5 ～ 15	噴射剤
n-ブタン	106-97-8	10 ～ 20	労安法通知対象物質 噴射剤
ヘキサン	110-54-3	1 未満	労安法通知対象物質
ヘプタン	142-82-5	1 未満	労安法通知対象物質
ポリブテン	非公開	15 ～ 20	—
石油樹脂	非公開	1.5 ～ 3.0	
熱可塑性ゴム	非公開	0.1 ～ 1.5	
高分子樹脂	非公開	1 未満	
紫外線防止剤	非公開	1 未満	

#### 4 応急処置

- 吸入した場合 : 直ちに新鮮な空気のある場所に移動する。不快感のある場合は、直ちに医師の手当てを受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 付着物を布にてすばやく拭き取る。  
石鹼水で付着した部分を洗浄する。接触部分に異常が見られた時は医師の手当てを受ける。
- 目に入った場合 : 直ちに清浄な水で約 15 分間洗眼し、眼球の隅々まで水がよく行き渡るように洗う。痛みが残る場合には医師の手当てを受ける。
- 飲み込んだ場合 : 水で口の中を洗い、無理に吐かせずに、直ちに医師の手当てを受ける。

#### 5 火災時の措置

- 消火剤 : 一般消火剤 (粉末、泡、炭酸ガス)
- 消火方法 : 初期火災には、粉末、二酸化炭素、乾燥砂などを用いる。  
大規模火災には泡消化剤を用いて空気を遮断することが有効である。  
消火に棒状水を用いてはならない。注水は火災を拡大する場合がある。  
周囲の設備などに散水して冷却し、延焼・拡大を防ぐ。  
火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。  
エアゾール製品の場合、高温で破裂する恐れがあるため、消火活動は距離を十分に取る。
- 消火にあたる者の保護  
: 消火作業の際には風上から行い、特に密閉された場所で消火の作業に従事する者は、必ず自給式呼吸具を着用する。

#### 6 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : 屋内の場合、十分に換気を行う。漏出した場合の周辺に口

ープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。

環境に対する注意事項：河川、下水道に排出され、環境汚染を起こさせないように注意する。

除去方法：付近の着火源となるものは速やかに取り除く。作業の際、保護具を着用する。風下で作業をしない。

付着物、廃棄物などは関係法規に基づいて処置をする。

少量の場合は、吸着剤（おがくず、乾燥砂等）で吸着させて、空容器に回収し、化学物質専用の場所で焼却又は廃棄処理する。

多量の場合は、漏洩した場所の周辺にロープを張るなどして人の立ち入りを禁止する。漏洩した液は土砂等で囲み、流れを止め、安全な場所に導いた後、出来るだけ空容器に回収する。

## 7 取扱い及び保管上の注意

取扱い：保護具を着用し、換気の良い場所で行う。火気、静電気、衝撃火花など着火源の生じないように注意する。

容器はその都度キャップ（ストッパー）または密栓する。

40℃以上に暖めない、40℃以上の所では取り扱わないこと。

密閉された場所での作業の場合、十分な局所排気装置を設け、適切な保護具を着用する。

粘着剤の皮膚・粘膜又は衣類への接触を避ける。

取扱い後は手、顔等をよく洗いうがいをする。

漏洩を防止する。

保管：冷暗所に貯蔵。直射日光のあたる場所、極端な高温多湿下、あるいは水に濡れる可能性のある場所での保管は避ける。

ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質との接触並びに同一場所での保管を避ける。

温度が40℃以上の所で保管しない。

子供の手の届かない所に保管する。

## 8 暴露防止及び保護措置

設備対策：取扱いについては、できるだけ密閉された設備、機器又は局所排気装置を使用する。

物質名	管理濃度	許容濃度
イソペンタン	規定無し	ACGIH (TWA) : 400ppm
AlkanesC8-10, iso (ナフタン含有)		ACGIH (TWA) : 300ppm
ナフタン		ACGIH (TWA) : 200ppm
イソブタン		ACGIH (TWA) : 800ppm
プロパン		ACGIH (TLV) : 1000ppm

n-ブタン		ACGIH(TLV) : 800ppm ACGIH(TLV) : 1900 (mg/m <sup>3</sup> )
その他		設定されていない

保護具 : 必要であれば、呼吸用保護具、保護眼鏡、保護手袋、耐油性の作業服を着用する。

## 9 物理的及び化学的性質

### <噴射剤、有機溶剤成分>

物理的状態 : 液体

外観等 : 無色透明

臭い : 僅かな炭化水素臭

沸点範囲 : データなし

分解温度 : データなし

沸点 : データなし

### <粘着剤成分>

物理的状態 : 半固体

外観等 : 透明～淡黄色

溶解性 : 水に不溶、有機溶剤に可溶

## 10 安定性、反応性

### <有機溶剤成分>

反応性 : 着火物や強酸化剤と反応し火災や爆発の危険性がある。

安定性 : 熱、光に対し安定。

混接触危険物質 : 過酸化剤、強酸化剤

### <粘着剤成分>

反応性 : 特記すべき反応性なし。

安定性 : 可燃性であり、通常の取扱い及び保管条件では、安定である。

## 11 有害性情報

製品に関する有害性情報 : 製品としての安全性試験は行っていない。

## 12 環境影響情報

現在のところ知見無し

## 13 廃棄上の注意

「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に従って廃棄する。

中身を使い切り、火気のない戸外で噴射音が消えるまでボタンを押し、ガスを完全

に抜いてから捨てる。

ガスを抜く際には、火気及びミストの吸入などについて注意すること。

中身の入ったものは絶対に廃棄しない。

投棄禁止。

#### 1.4 輸送上の注意

荷役作業場は火気厳禁とし、消火器を配置すると共に、作業中の標識をする。

車輛には異常時のための応急処置に必要な消火器、保護具を備える。

陸上運送：消防法、労安法に定めるところに従う。

海上運送：船舶安全法に定めるところに従う。

航空輸送：航空法に定めるところに従う。

国連番号：1950

#### 1.5 適用法令

高圧ガス保安法：適用除外項目対象

消防法：第4類第1石油類 危険等級II

船舶安全法：船舶安全法に定めるところに従う。

労働安全衛生法：施行令 危険物（引火性のもの、可燃性のガス）

：名称を通知すべき有害物

#### 1.6 その他の情報

記載事項は現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、以上の情報は新たな知見により改定されることがあります。また、記載内容は通常の手扱いを対象としたものであって、特殊な手扱いの場合には、用途、用法の適した安全対策を実施の上、御使用下さい。

記載内合わせ先：製造者情報欄参照